

循環器内科

【概要】

当院は、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション療学会研修施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設に認定されています。

【研修内容と特徴】

【冠動脈・末梢血管疾患への取り組み】

地域の中核病院として紹介患者様が多く、2016年度は冠動脈造影検査(CAG)994件、冠動脈形成術(PCI)414件、末梢血管形成術(PVT)104件、内シャント形成術135件の実績があります。

【不整脈治療への取り組み】

不整脈チームでは心房細動を中心とするカテーテルアブレーションや、ICD・CRTDなどのデバイス植え込みの症例も豊富で治療も積極的に行っています。昨年度、県内で初めてCryoballoonを導入し、152件のアブレーションを施行しています。

【充実した指導医・コメディカルスタッフ】

循環器全般の知識を持った心カテ室専属看護師・MEを配置し、冠動脈疾患・不整脈のみならず末梢インターベンション・深部静脈血栓症・肺塞栓症・CRTDなどのデバイス植え込みなどほぼすべての循環器疾患に対応できる体制をとっております。特にスタッフ内の連携が自慢です。

【他科との協力体制】

心臓血管外科・形成外科をはじめ、各専門科が充実しており、病院全体として地域医療へ貢献する姿勢が強いため、他科の協力も非常に得られやすくストレスの少ない研修が送れます。

【Onset-to-Balloon Time 短縮】

モバイル型12誘導伝送心電図を取り入れ、救急隊との連携で心筋梗塞患者様のOnset-to-Balloon Time短縮が得られており、患者様の予防後改善に積極的に取り組んでいます。

【臨床研究・発表】

県外・国外への学会発表・参加も積極的に奨励・サポートしています。

【豊富な人材によるチーム医療】

- ・循環器スタッフ医師：9人(循環器専門医6人)
- ・循環器専門看護師：2名
- ・バスキュラーラボ専属技士：4人
- ・循環器担当ME：2名
- ・心臓リハビリテーション指導士：3名
- ・健康運動指導士：2名
- ・心臓リハビリテーション専従看護師：3名

(2016年12月現在)

【診断部門の充実】

- ・バスキュラーラボ(2006年設立)による全心血管の管理を行っています。
- ・年間6000~6200件の心血管エコーを行ない、研修医教育にも参加してもらっています。
- ・320列CT、MRAによる画像診断に定評があります。
- ・年間約400~500件の心筋シンチにて虚血・心筋症評価を行なっています。

【低侵襲かつ機能的評価に基づいた緻密なPCI治療】

- ・心筋シンチ・DOB 負荷心エコー・冠血流予備能比(FFR)などによる虚血評価をおこなってからの治療適応を判断しています。又、ほとんどの症例で撓骨動脈からのアプローチで検査・治療を行っています。
- ・血管内超音波(IVUS)・光干渉断層法(OCT・OFDI)の使用例も多く、読影する力も早急に養えるよう取り組んでいます。

【心臓リハビリの充実】

術後から積極的にリハビリを取り入れ患者教育に力をいれています。

外来心臓血管リハビリを始め、Japan Heart Clubにも参加して循環器疾患の一次予防から取り組んでいます。

【週間スケジュール】

月曜	7:30~ 8:15	偶数週 心不全勉強会 奇数週 心電図勉強会
	17:00~17:30	シネカンファ
	17:30~18:30	心エコー勉強会
火曜	7:30~ 8:15	内科スタッフレクチャー
	17:00~17:30	循環器多職種カンファレンス
	17:30~18:00	シネカンファ
木曜	7:30~ 8:15	研修医症例検討会
	17:00~17:30	シネカンファ
金曜	7:30~ 8:15	循環器抄読会
	17:00~17:30	シネカンファ
土曜	9:00~10:30	総回診

【特記事項】

【専門研修について】

現在、後期研修を行っているが、新専門医制度開始後は、内科専門医を取得しながら循環器専門研修を受けなければならない。

当院は新専門医制度に向けて内科基幹施設の取得の準備もしており、どのような状況になっても十分な研修を受けてもらえるよう柔軟な体制づくりをしている。

【研修アライアンス施設】

- ・新古賀病院
- ・亀田総合病院

【お問い合わせ】

社会医療法人 友愛会

豊見城中央病院

臨床研修支援室 担当:川平

TEL:098-850-3811 FAX:098-850-3810
